

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

鹿北生コン株式会社は、人々の安心安全な暮らしを支えるインフラの構築に必要な「生コンクリート」を『確かな品質』にて製造・供給を通じ、環境・社会・経済に調和したサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
		項目	環境に配慮した車両割合(ミキサー車除く)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・環境に配慮した車両への切替	現状(2025年)	更新時(3年後)
		75%	80%
		項目	コンクリート技士免許取得人数
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・コンクリート技士の免許取得	現状(2025年)	更新時(3年後)
		4名	6名
		項目	休暇日数
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・働きがいの向上(年間の休暇日数増加)	現状(2025年)	更新時(3年後)
		—	24日増加(2025年度比)
		項目	—

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

鹿北生コン株式会社は、熊本県生コンクリート工業組合、山鹿市商工会等と連携しながらSDGsに取り組むことで、地域に信頼される企業を目指します。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・環境に配慮した車両への切替	2025年75%(2022年50%)
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	環境負荷の低減を目的に、環境に配慮した車両への切替を積極的に推進し、2025年までに75%を環境対応型車両へ切り替えることを目標として掲げ、結果目標達成できました。今後も継続的に推進することにより、持続可能な社会の実現に貢献いたします。	2025年75%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・コンクリート技士の免許取得	2025年6人(2022年4人)
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	専門技術者の育成を当社の重要な課題と掲げ、特に技術力向上を目的とし、コンクリート技士の資格取得を推進しております。2025年までに6名の資格取得を目標として掲げていますが、現時点では4名が資格を取得し、目標未達成となりました。引き続き、社員教育や支援体制の強化を図り、目標達成に向けて取り組んでまいります。	2025年4人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・働きがいの向上(年間の休暇日数増加)	2025年24日増加(2022年比)
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	社員一人ひとりの「働きがいの向上」の取り組みの一つとして、社員のワークライフバランスの充実を目指し、2025年までに年間休暇日数を24日増加させるという目標を掲げて、目標達成いたしました。今後も社員が安心して働ける環境づくりを進め、さらに働きがいのある職場を目指して取り組んでまいります。	2025年24日増加

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。